

2025年度 ソーシャル・データサイエンス研究科での 学びについて



Social Data Science



リンクを参照

学生便覧



「学生便覧（4 / 4 配布予定）を参照

オンデマンドガイダンス

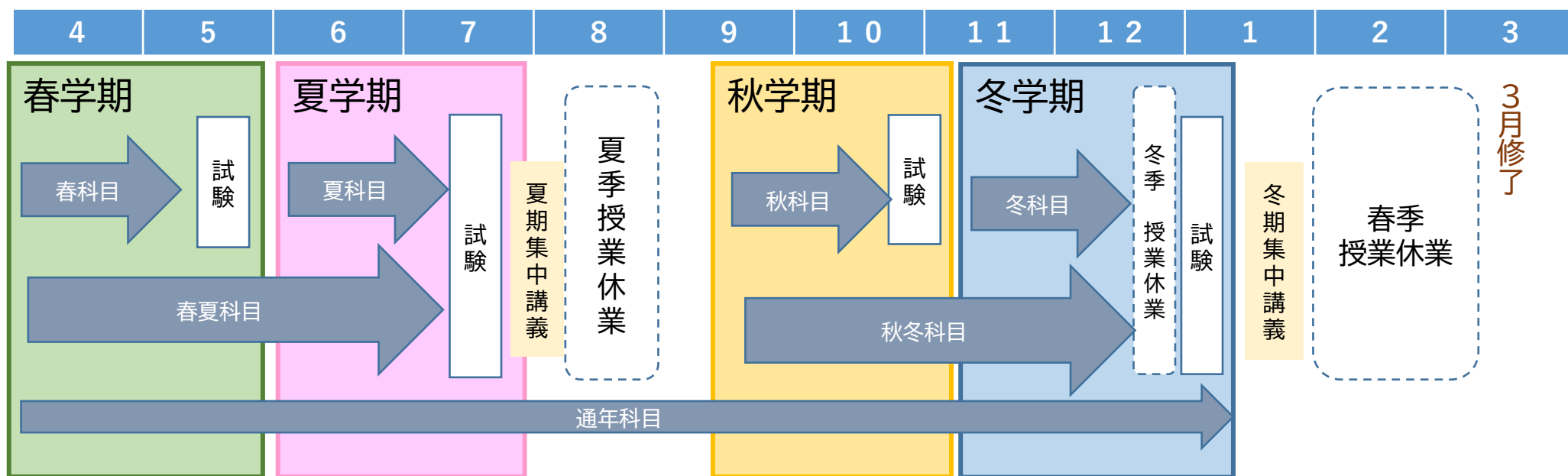
I. 履修登録にあたり

本学に関する基本的事項をおさえましょう



1年間の流れ

一橋大学は4学期制となっていて、「[学年暦](#)」に沿って学修が進められる



授業時間

授業は、**105分**を1時限とする（1日6時限まで）

時限	時間
第1時限	8 : 45 ~ 10 : 30
第2時限	10 : 45 ~ 12 : 30
第3時限	13 : 15 ~ 15 : 00
第4時限	15 : 15 ~ 17 : 00
第5時限	17 : 10 ~ 18 : 55
第6時限	19 : 45 ~ 21 : 30

※第6限は原則としてライブ配信授業のみ実施

SDS研究科 開講科目

本研究科の開講科目は[カリキュラム特性](#)を踏まえ複合的なものとなっている

事前教育プログラム ソーシャル・データサイエンス・ブートキャンプ

1 統計学領域準備コース 2 情報・AI 領域準備コース 3 社会科学領域準備コース



博士前期：[開講科目](#)

博士後期：[開講科目](#)

※「高頻度資産価格データ分析」は「経済・ファイナンスデータの時系列分析」、「ビッグデータによる経済予測」は「時系列ビッグデータの分析」に読み替え

SDS研究科の修了要件（博士前期課程）

2年以上在学し、30単位以上（演習8単位以上を含む。）、かつ科目区分ごとの修了要件単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること

分野	科目	必修単位	履修年次
演習	演習	8単位	1, 2年次
	研究指導	4単位	1, 2年次
ソーシャル・データサイエンス基礎科目	ソーシャル・データサイエンス特論	2単位	1年次
	ソーシャル・データサイエンスのELSI	2単位	
データサイエンス科目	「統計分析発展(実践)」「機械学習発展(実践)」 「統計分析発展(学術)」「機械学習発展(学術)」から2科目	4単位	1年次
ソーシャル・データサイエンス発展科目＋ リサーチワークショップ	ビジネス・イノベーション分析科目から2単位以上	合計 10単位	1,2年次
	社会課題解決科目から2単位以上		
	リサーチ・ワークショップ		2年次

※上図は抜粋し再構成しているため、詳細は必ず「ソーシャル・データサイエンス研究科細則」で確認すること

時間割の作成

1 年次必修科目の開講曜日時限を優先して、履修科目を決めていく

修了要件

分野	科目	必修単位	履修年次
演習	演習	8単位	1, 2年次
	研究指導	4単位	1, 2年次
ソーシャル・データサイエンス基礎科目	ソーシャル・データサイエンス特論	2単位	1年次
	ソーシャル・データサイエンスのELSI	2単位	
データサイエンス科目	「統計分析発展(実践)」「機械学習発展(実践)」 「統計分析発展(学術)」「機械学習発展(学術)」から2科目	4単位	1年次
ソーシャル・データサイエンス発展科目＋ リサーチワークショップ	ビジネス・イノベーション分析科目から2単位以上	合計 10単位	1, 2年次
	社会課題解決科目から2単位以上		
	リサーチ・ワークショップ		2年次

イメージ

- シラバスで開講曜日時限を確認
- 履修登録期間に登録すること

時間割案

	1限目	2限目	3限目	4限目	5限目
月					
火	統計分析発展(実践)(春) 統計分析発展(学術)(夏)	SDS特論(春学期) DSのELSI(夏学期)			演習(春夏学期)
水	研究指導(春夏学期)				
木					
金	統計分析発展(実践)(春) 統計分析発展(学術)(夏)	SDS特論(春学期) DSのELSI(夏学期)			

*「機械学習発展」を取る場合は秋冬学期の履修登録となる



履修登録の流れ

学務情報
システム

CELS
CAMPUS EDUCATION LEARNING SYSTEM

！ 教務課のガイダンス  も確認のこと

学年暦で決められた履修登録期間に履修科目をCELSで登録する



履修モデル①（博士前期）高度専門職業人材

GOALイメージを踏まえて履修科目を設定

科目区分			単 位	修了要件	
【事前教育プログラム】 ソーシャル・データサイエンス・ ブートキャンプ				2年以上在学し、 <u>30単位以上</u> （演習・研究指導 12 単位以上を含む※）修得し、かつ、 必要な研究指導を受けたうえで、 <u>修士論文の審査</u> 及び <u>最終試験に合格</u> すること ※かつ、科目区分ごとの修了要件単位数を満たすこと	
				1 年次	2 年次
ソーシャル・データサイエンス 教育科目	ソーシャル・データサイエンス 基礎科目		4 単位 以上	●ソーシャル・データサイエンス特論 ●データサイエンスのELSI	
	データサイエンス 科目		4 単位 以上	●統計分析発展（実践） ●機械学習発展（実践）	
	ソーシャル・データサイエンス 発展科目	ビジネス・イノベーション 分析科目	10 単位 以上 必修	サービス工学 DXイノベーション	
		社会課題 解決科目		超高齢社会と科学技術 認知社会シミュレーション 技術と法	
	リサーチ・ワークショップ				
	演習科目		12 単位 以上	●演習 ●研究指導（修士論文）	●演習 ●研究指導（修士論文）
30 単位 以上			【修士論文テーマの例】高齢化社会における最適な交通システムの在り方		

●…必修

●…必修

履修モデル②（博士前期）複合的学問領域の研究人材

GOALイメージを踏まえて履修科目を設定

科目区分			単 位	修了要件	
【事前教育プログラム】 ソーシャル・データサイエンス・ ブートキャンプ				2年以上在学し、 <u>30単位以上</u> （演習・研究指導12単位以上を含む※）修得し、かつ、 必要な研究指導を受けたうえで、 <u>修士論文の審査</u> 及び <u>最終試験に合格</u> すること ※かつ、科目区分ごとの修了要件単位数を満たすこと	
				1年次	2年次
ソ ー シ ャ ル ・ デ ー タ サ イ エ ン ス 研 究 科 教育科目	ソーシャル・データサイエンス 基礎科目		4単位以上	●ソーシャル・データサイエンス特論 ●データサイエンスのELSI	
	データサイエンス 科目		4単位以上	●統計分析発展(学術) ●機械学習発展(学術)	
	ソーシャル・データサイエンス 発展科目	イノベーション・ 分析科目	10単位以上 必修	経済・ファイナンスデータの時系列分析 時系列ビッグデータの分析	
		社会課題 解決科目		空間情報を用いた社会・経済分析	
	リサーチ・ ワークショップ			リサーチ・ワークショップⅠ リサーチ・ワークショップⅡ	
	演習科目		12単位以上	●演習 ●研究指導(修士論文)	●演習 ●研究指導(修士論文)
30単位以上			【修士論文テーマの例】地域別の経済動向が事業所を全国展開する企業の株価に与える影響		

●…必修

SDS研究科の修了要件（博士後期課程）

3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること

分野	科目	必修単位	履修年次
研究指導	SDS研究指導A SDS研究指導B SDS研究指導C SDS研究指導D	6単位	1, 2, 3年次
講義	SDS研究方法論Ⅰ SDS研究方法論Ⅱ	2単位	1年次
演習	SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅠ SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅡ	4単位	1年次
	SDS共同プロジェクト演習Ⅰ SDS共同プロジェクト演習Ⅱ	4単位	2年次

※上図は抜粋し再構成しているため、詳細は必ず「ソーシャル・データサイエンス研究科細則」で確認すること



履修モデル（博士後期）

	学期	講義	演習	研究指導 ほか
	春夏	• SDS研究方法論Ⅰ 責任ある科学技術イノベーション(RRI) • SDS研究方法論Ⅱ 研究開発マネジメント論	• SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅠ	• 副指導教員(2名)の選出 • 先行研究レビュー • 研究テーマの確定(プレFDプログラムの受講)
D1	秋冬		• SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅡ	• 適切な共同研究先の選定 • 共同研究のための準備
	• 春夏学期に、研究遂行上必須となる「責任ある科学技術イノベーション(RRI)」と、研究開発マネジメント能力を育成する「研究開発マネジメント論」を、SDS分野の研究方法論として学ぶ。また、1年を通じてSDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップに参加し、国際的なSDS研究の最先端の状況を識るとともに、自身の研究を報告することで学術コミュニケーション能力を身につける。また、学生のキャリア計画をふまえ、必要に応じてプレFDプログラムの受講を推奨する。 • 研究指導では、指導教員・副指導教員との密なコミュニケーションの下で、研究テーマの確定、先行研究レビューや、2年次の共同プロジェクト先の選定とその準備を行う。			
D2	春夏		• SDS共同プロジェクト演習Ⅰ	• 共同研究のフォロー • 博士論文計画の作成
	秋冬		• SDS共同プロジェクト演習Ⅱ	• 博士論文計画の提出→承認
	• 1年を通じて民間企業・公的セクターとの共同プロジェクトに参画して、1年次の学修内容を実践し、同時にSDS分野の最先端の知識を身につける。 • 研究指導では、共同プロジェクト演習のフォローを行うとともに、博士論文計画の作成から提出・承認までを行う。			
D3	春夏			• 博士論文の執筆→学位申請書類の提出
	秋冬			• 博士論文審査
	• 主に研究指導を通じて研究を進め、博士論文を完成させる。			



評価方法と成績

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科細則



GPAには「演習」など E / F 評価科目は算入しない

➤ 成績評価方法 : [シラバス](#)  参照

➤ 試験日、成績発表日 : [学年暦](#)  参照

・試験は教場試験やオンライン試験、レポート提出、平常点など

➤ 成績と GPA (Grade Point Average) : [大学院GPA制度に関する要項](#)  参照

評価	GP
A+ (到達目標を達成し、極めて優れている Outstanding)	4.3
A (到達目標を達成し、特に優れている Excellent)	4
B (到達目標を達成し、優れている Good)	3
C (到達目標を達成し、合格水準に達している Satisfactory)	2
F (到達目標を達成していない。不合格 Non-Completion)	0



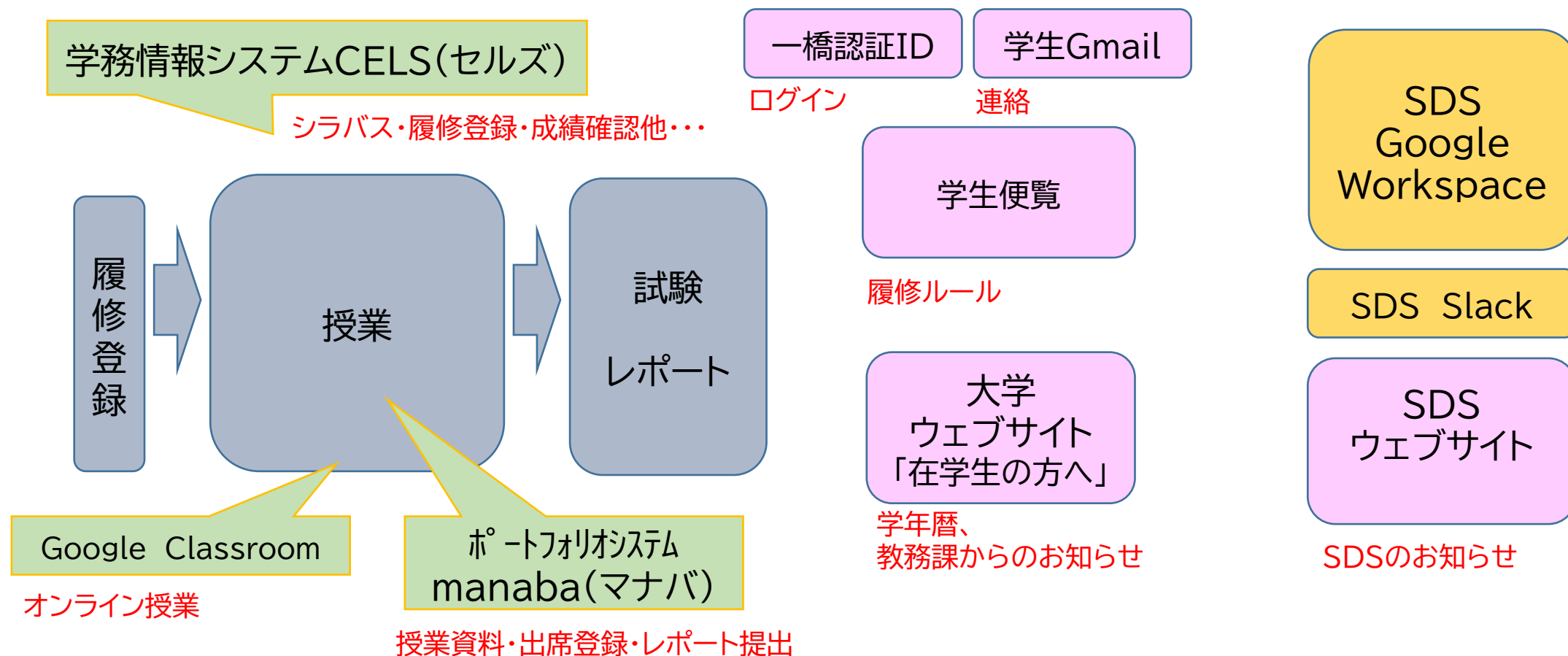
Ⅱ. 学びを支えるツール

情報提供ツール、学修の際活用するツールを把握しましょう



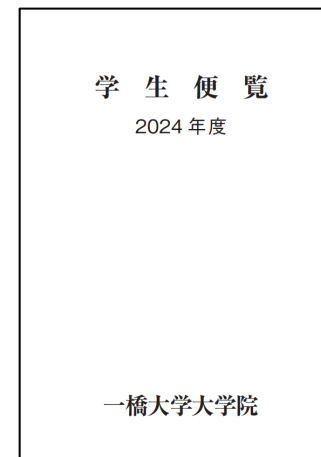
学修に必要なツール

情報提供や学習の補助ツールは多岐にわたるので、主体的に確認すること



■学生便覧（4月4日ガイダンスで配布）

履修ルールや規則、手続きなどをまとめて
掲載している冊子
関連する箇所は精読すること



■大学Webサイト 在学生の方へ

教務課からの連絡・学年暦の確認

<https://www.hit-u.ac.jp/students/index.html>



■学務情報システム CELS

シラバス検索・閲覧、履修登録、期末試験、成績確認など
授業にかかわる情報の確認や手続きをする学修システム。

休講情報やお知らせの掲示、

教務資料のダウンロードも可能

<https://cels.hit-u.ac.jp/> 



大学ウェブサイト
にあるバナーからログイン



スマートフォン画面の例

■一橋認証ID

* 4月4日のガイダンスで交付される通知書（はがき）
でユーザーIDとパスワードが通知される

IDは本学の各種情報システムの利用（ログインなど）に
必要（在学中使用する）

初期パスワードは変更し、その後は自身で管理すること

■大学Gmail

研究教育の目的で「@g.hit-u.ac.jp」のメールアドレスとメールシステム（Gmail）を利用できる 大学からの
連絡があるのでこまめにチェックすること

初期設定については[こちら](#) を参照 情報基盤センター「システムの利用について」 <https://cc.hit-u.ac.jp/gsuite>

■1284Wireless（無線LAN）

大学内に無線LANを使用できる場所を提供 一橋認証IDで設定

初期設定については[こちら](#) を参照

■ Microsoft 365 Apps for enterprise (Office 365)

Office アプリケーションの最新版(Word, Excel, PowerPoint)のインストールが可能

初期設定については[こちら](#) を参照

一橋認証IDをはじめ、大学の情報環境利用の詳細は、

「[情報環境利用案内](#) 」を確認してください

https://cio.hit-u.ac.jp/ISMH/ict_guide



■ポートフォリオシステムmanaba

履修中の科目において、出席確認、資料のダウンロード、レポート提出などを行うクラウド型教育支援サービス

<https://manaba.hit-u.ac.jp/> 



■Google Classroom

履修登録したオンライン（授業）科目等の動画

コンテンツの視聴や資料の確認が可能



■ SDS ウェブサイト

SDSのニュース、教員の研究などの情報発信

<https://www.sds.hit-u.ac.jp/> 



■ SDS Google Workspace

SDS 学部内のデータ共有や一部のWeb サービス にて利用する Google アカウント

* SDSから独自のGoogleアカウントを付与

■ SDS学部・研究科Slack

SDS生と教員、職員で使うコミュニケーションアプリ

* SDSアカウントのGmailで招待

* 自己紹介, 学術イベントやインターンの告知、

親睦会や一橋祭、勉強会についての議論などに使用



Ⅲ. 学び、学生生活の支援

大学生活をささえる仕組みや関連部署を確認しましょう



奨学金制度

各種経済支援（貸与型／給付型）あり 募集内容や手続きを確認のこと
詳細は[こちら](#)  から 申込窓口：学生支援課 奨学事業係

【主なもの】

- ・日本学生支援機構（JASSO）の貸与奨学金
- ・一橋大学学内奨学金、民間奨学団体・地方公共団体の奨学金など
- ・授業料免除・徴収猶予
- ・一時金貸付制度

海外留学制度

外国の大学への留学・研修は利用可能

* 単位修得の算入ルールについては、プログラムごとに異なるので、都度確認すること



国際教育交流センターの「[海外留学を希望する方へ](#)」ページを参照

HITOTSUBASHI UNIVERSITY
GLOBAL & INTERNATIONAL

お問合わせ先 FAQ アクセスマップ サイトマップ ENGLISH 一橋大学ホームページへ

PROSPECTIVE INTERNATIONAL STUDENTS 一橋大学への留学を希望する方へ
STUDY ABROAD 海外留学を希望する方へ
CURRENT INTERNATIONAL STUDENTS 在学中の留学生の方へ
INTERNATIONAL EXPERIENCES @ HITOTSUBASHI 学内での交流活動
RESEARCHERS 研究者の方へ
COURSES 授業科目

Home > 海外留学を希望する方へ

STUDY ABROAD
海外留学を希望する方へ

- NEWS & EVENTS
- 留学までのステップ
- 一橋大学海外派遣留学制度
- グローバルリーダー育成海外留学制度
- 大学院生海外留学奨学金
- 異文化交流研修
- 海外語学研修
- 短期研修
- 日本学生支援機構等の奨学金
- その他の留学
- 民間団体等募集奨学金
- 語学能力試験・検定について
- アーカイブ

Resources for Students

- 日本語教育
- 留学生・海外留学相談
- Hitotsubashi University Global Education Program (HGP)

海外留学を希望する方へ

留学生・海外留学相談室では授業日の午後予約制のオンライン留学相談を提供しています。利用を希望する一橋大学在籍中の学生の方は、[海外留学相談オンラインカレンダー](#)を確認の上、前日までに予約をお願いします。
また、派遣留学制度や手続きについての最新情報は、相談室と緊密に連携している教務課第五係 edu-gs.g@ad.hit-u.ac.jp までお気軽にお問い合わせください。

グローバル化が進んでいる世界の中で、主体的に物事を考え、多様なバックグラウンドを持つ同僚、取引先、顧客等と文化的・歴史的な価値観や特性の差異を乗り越えて活躍できる学生、またそこから新しい価値観を引き出せるような人材を輩出するための一環として、一橋大学では、各種制度・プログラムを設け、これらを通じて海外留学を志す人をサポートしています。

Study Abroad Programs 2022

本学が実施する2022年度の海外留学プログラム一覧です。
海外留学にかかる本学の各種奨学金等についての情報も掲載されています。

STUDY ABROAD PROGRAM

(683KB)

相談窓口

大学ウェブサイト「[在学生の方へ](https://www.hit-u.ac.jp/students/index.html)」に各種リンクあり
<https://www.hit-u.ac.jp/students/index.html>

SDS事務室

学修に関する
相談全般は
SDS事務室まで

履修 証明書

学生支援課 学生サービス係

課外活動 忘れ物

キャリア支援室

就職活動

教務課 教務係(学務担当)

学生証 証明書

学生支援課 奨学事業係

奨学金

学生相談室

相談全般

教務課 留学支援係

留学

学生支援課 学生生活係、宿舍管理係

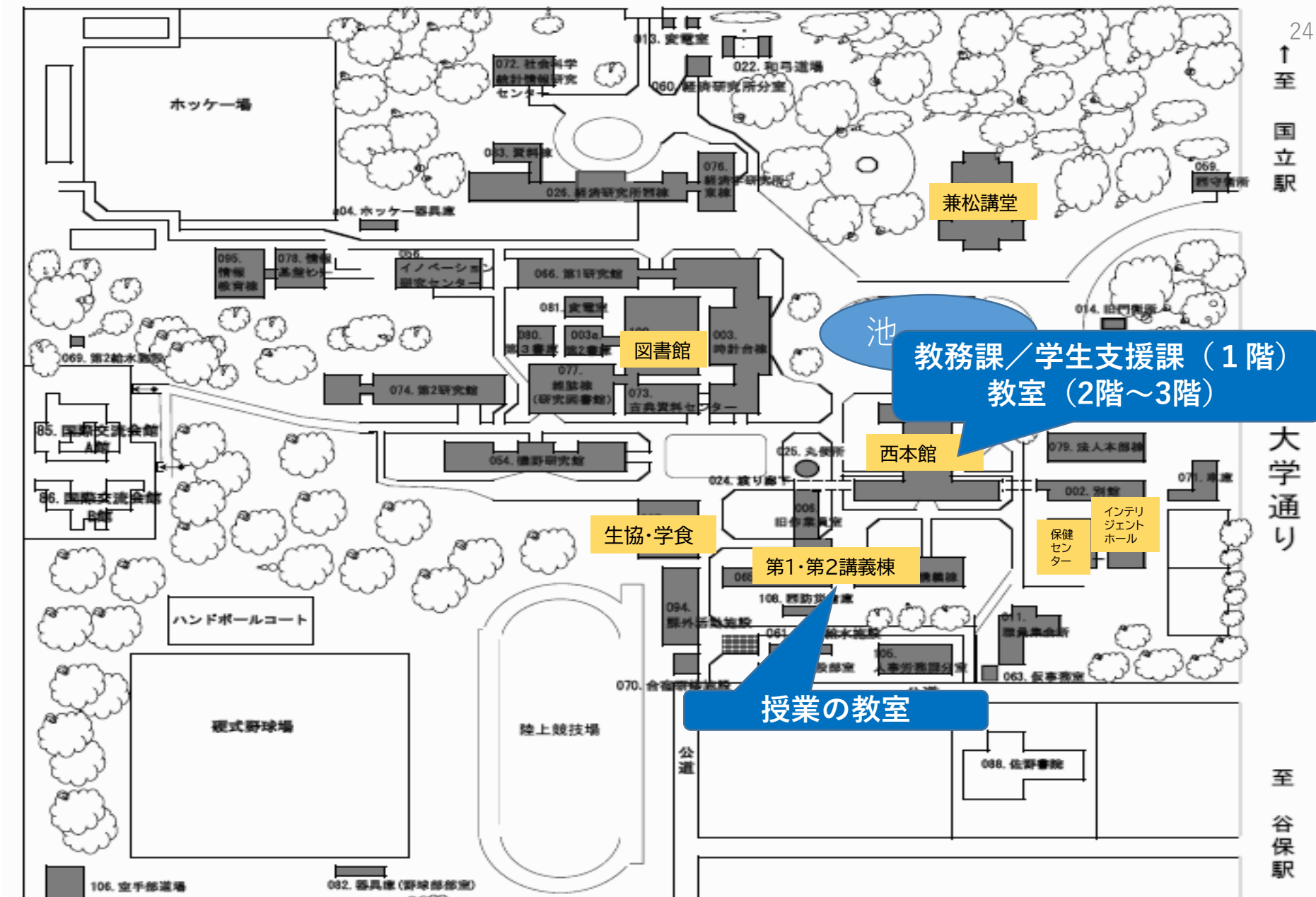
アルバイト
学生寮

保健センター

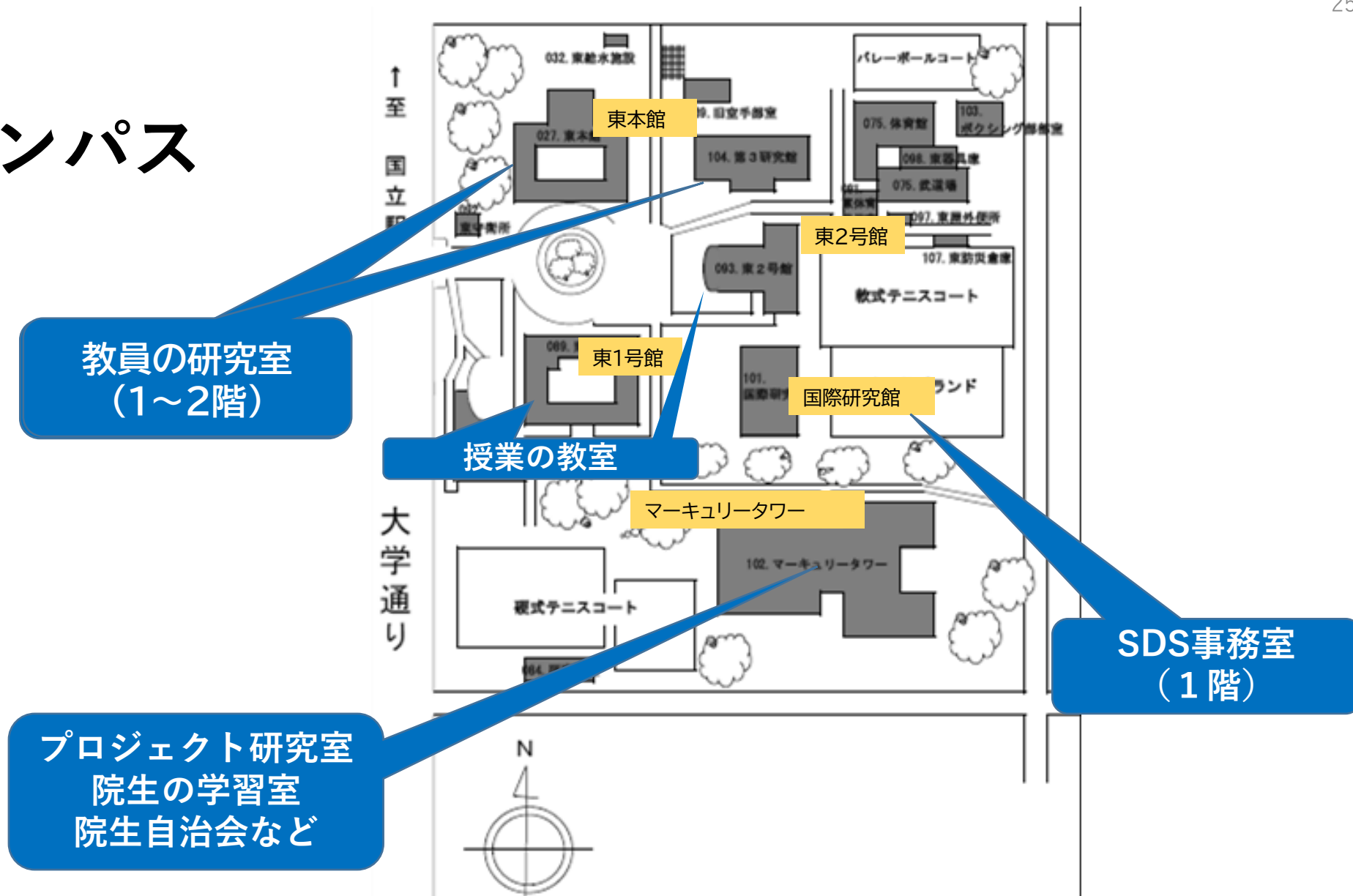
健康相談



西キャンパス



東キャンパス



2025年度SDS研究科ガイダンスのご案内

日時：2025年4月4日（金） 14：00～15：00
東キャンパス 東2号館 2201番教室

* 13:30～受付開始 13:50までに受付を完了し、着席してください

* 筆記用具を必ず持参してください

- ・履修登録にあたり押さえるポイント
- ・演習や学位論文について
- ・学生生活の注意点 など

必ず出席してください